

Asteria[◇] warp

日本ジェネリック株式会社

Business b-ridgeとmcframeの連携を内製し、開発コストを大幅に削減！

受注・生産管理に関わる製造委託業務をシステム化し、業務効率の向上に大きく貢献

日本ジェネリック株式会社は、ジェネリック医薬品の製造・販売を通じて、全国の医療機関・薬局に対し、ジェネリック医薬品の安定供給を担っている。同社では400品目を超えるジェネリック医薬品を取り揃えているが、そのうち約半数は外部委託先によって製造されている。委託先との納期調整は、これまでメール・電話・FAXを利用し、納期情報を担当者が生産管理システム「mcframe」に手入力していた。こうした手作業の負担を解消すべく、「Business b-ridge」を導入し、委託先との情報連携の電子化・ペーパーレス化を推進。その際、Business b-ridgeで取得した納期回答をmcframeへ連携する必要が生じ、当初は外注で対応していたが、他部署で活用実績のあった「ASTERIA Warp」とBusiness b-ridgeアダプター[※]を活用することでシステムレスなデータ連携の内製化を実現し、外注コストの削減にもつながった。さらに、Warpの柔軟かつ多様な連携機能が評価され、他ツールの選定にも好影響を与えている。

※Business b-ridgeアダプターはビジネスエンジニアリング社からの販売

導入背景

- メールや電話、FAXを介した製造委託先との納期のやり取りをBusiness b-ridgeでシステム化したものの、納期情報を手作業でmcframeに登録する必要があった
- Business b-ridgeとmcframeのシステム連携処理を外注していたが、連携範囲の拡大に伴うコストの増加や、運用変更時の柔軟性の欠如が課題に
- FAXで行われる人手による製品受注作業には多大な手間がかかっており、業務プロセスの電子化が求められていた

選定ポイント

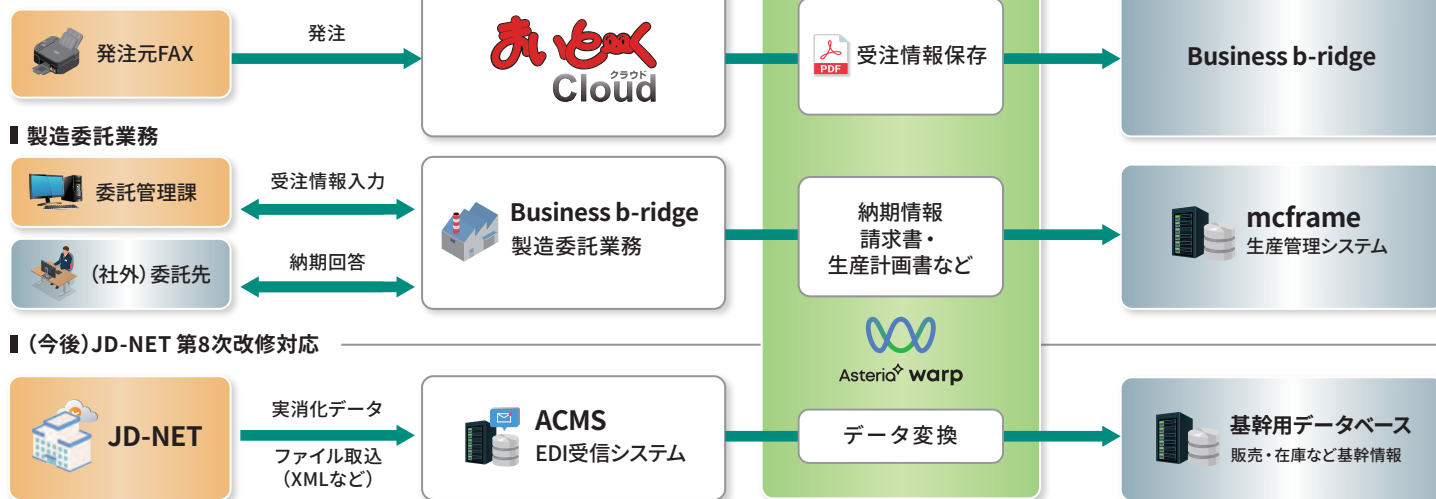
- ノーコードによる高い生産性により、開発工数の大幅な削減が期待された
- Business b-ridgeと容易に接続できるアダプターが備わっている点に加え、多様なシステム連携を見据えたスケーラビリティの高さを評価
- 一部社内システムのクラウド化に際し、スモールスタートに適した「ASTERIA Warp Core+」を導入しており、幅広い製品ラインナップにより段階的なシステムを拡張できる点にも魅力を感じていた

効果

- Business b-ridgeとmcframeのデータ連携により、人手で行っていた入力作業を月約90時間削減。連携処理を内製し、外注による開発コストをゼロに
- 請求書や生産計画書などのデータも連携し、製造委託にかかわる業務を標準化。データの一元管理により、委託先の進捗管理が容易に
- FAXでの受注処理をシステム化するにあたり、連携実績が豊富なASTERIA Warpとの連携を前提として「まいと〜く」を選定。導入コストを抑えた製品選定に貢献した

システム概要

■ FAX受注業務



ユーザーのひと言



今後も、Business b-ridgeと他システムとの連携にとどまらず、業務上で生じるあらゆるシステム連携のニーズに応えるための標準的な基盤として、ASTERIA Warpの活用を進めていきたいと考えています。当社では、医薬品業界の標準データ交換基盤として、JD-NETを受発注業務の領域で活用していますが、現在同基盤で進められている「第8次改修」に対応するためのデータフォーマットの変更に伴い、ACMSで受け取った実消化データをASTERIA Warp経由で自社のデータベースに格納するシステムへの切り替えを進めています。こうした背景を踏まえ、ASTERIA Warpへの期待はますます高まっています。

日本ジェネリック株式会社 システム部 課長 石橋 一浩 様

User Profile

JG 日本ジェネリック株式会社

所在地：東京都港区芝5-33-11 田町タワー8F

会社概要：医療用医薬品の製造販売

業種：製造業

URL：https://www.nihon-generic.co.jp/